



富山大学附属病院だより

連携

特集

「包括的脳卒中センター」を開設しました!
「総合感染症センター」を立ち上げました!
ロボット支援下内視鏡手術の保険適用が広がった

連携病院のご案内「特定医療法人財団五省会西能病院」
診療科紹介 新任教授の抱負
歯科口腔外科 歯科衛生士紹介
食と健康「夏バテに負けない身体を食事から」
読むくすり箱「専任薬剤師による病棟薬剤業務のご紹介」
スタッフステーションから
季節のご挨拶

かわら版

Vol.

137

TOYAMA UNIVERSITY HOSPITAL

2018年8月発行



「包括的脳卒中センター」を開設しました！

脳卒中（Brain Attack）は、脳の血管に知らぬ間に発生した病気（動脈硬化、脳動脈瘤など）が原因で、直前まで元気になっていた人が突然倒れる恐ろしい病気です。現在も、心疾患、がん、肺炎とともに日本人の主要な死因の一つとなっています。さらに、脳卒中の後遺症によって不自由な生活を強いられている患者さんは年々増加しており、これにはわが国における近年の食生活の変化なども影響していると考えられています。特に、全国よりも早いペースで人口減少、高齢化社会が進んでいる富山県では、今後、脳卒中の予防、治療にはこれまで以上に注力すべき時代を迎えています。

こういった事情を背景に、富山県における脳卒中医療をさらに向上させるため、本年4月に富山大学附属病院に「包括的脳卒中センター」を開設しました。これまでも富山大学附属病院では脳卒中の患者さんの治療にあたってきましたが、さらに数多くの患者さんを受け入れて今まで以上に高度な医療を提供することを目的としています。当センターでは、24時間365日体制で脳卒中の患者さんを受け入れて、内科治療、手術、血管内治療、リハビリテーションなど全ての手段を駆使して治療成績の向上に努めます。「包括的脳卒中センター」の構想は、2016年に齋藤滋病院長が就任し、ここ2年で一気に動きが加速しました。開設の1年前からワーキンググループを作って、脳神経外科、神経内科、救急部、放射線部、検査部、手術部、リハビリテ



包括的脳卒中センター
センター長 黒田 敏

ション部、薬剤部、事務など、脳卒中に関わる全てのセクションの皆さんと準備することで、脳卒中専門医や脳卒中外科技術認定医、血管内治療専門医などを整備したほか、tPAや血栓回収術、臨時手術を即座に実施するための様々な課題をクリアしました。これまでの脳神経外科32床、神経内科20床に加えて、脳卒中専用病床として12床増床して看護体制も整えました。脳神経外科では、今年は昨年よりも1.5倍のペースで手術、血管内治療を実施しています。



「総合感染症センター」を立ち上げました！

薬剤耐性（AMR）感染症が世界的に拡大し、社会的に大きな影響を与えています。このような中、2018年5月に感染症に関する予防・制御・診断・治療・研究を統括する総合感染症センターを新たに立ち上げました。センター内に臨床部門、研究開発・検査部門を設置し、24時間365日体制で専門的な知識と経験に基づいた高い水準の感染症専門診療および世界トップレベルの研究開発・検査拠点として活動しています。

① 臨床部門

診療分野

感染症科を中心に他の診療科の協力を得て、あらゆる感染症に対して24時間365日体制で対応しています。

- 1) 専門的な知識と経験に基づいた高い水準の感染症専門診療
・基礎、数理、臨床を融合した新しい個別化抗菌化学療法を提供することが可能です。
- 2) 輸入感染症・渡航者外来(ワクチン接種)の対応
・北陸地方で唯一熱帯病治療薬研究班希少薬剤使用機関に所属しており、重症マラリアに有効なグルコン酸キニーネ等の国内未承認薬を保管しています。
- 3) 地域医療連携
・地域医療機関からホットラインを通じて24時間365日コンサルテーションを受ける体制が確立されています。

臨床研究分野

バイオ医薬・核酸医薬・抗体医薬を含めた主として感染症治療に関する臨床研究・治験を行います。



総合感染症センター
センター長 山本 善裕

② 研究開発・検査部門

検査・輸血細胞治療部 遺伝子・先進医療支援部門を中心に感染症研究開発・検査拠点として活動しています。

研究開発分野

当部門で独自に世界トップレベルの研究開発を行っています。

- 1) 起炎菌迅速同定法(Melting Temperature mapping method)：国内特許・国際特許取得
- 2) 起炎菌迅速定量法：2017年12月に特許出願。2016年AMED, ACT-M「イノベーションセットアップスキーム」に採択。
- 3) 真菌迅速同定法
- 4) 子宮内感染症迅速検査法
- 5) 迅速薬剤感受性試験法

検査分野

上記迅速検査を院内で実施するとともに、他施設からの受託を行います。

創薬分野

産学官連携を念頭においた、バイオ医薬・核酸医薬・抗体医薬としての新規抗微生物薬（抗ウイルス薬、抗真菌薬、抗菌薬）の開発を行います。

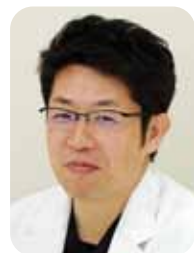


ロボット支援下内視鏡手術の保険適用が広がった

da Vinciによる新しい呼吸器外科！

2018年1月より最新のロボット支援手術「da Vinci手術」を当科呼吸器外科手術に導入いたしました。適応は肺癌と縦隔腫瘍で、今年度から保険診療が可能となりました。

従来の内視鏡手術との最大の違いは、手術で使用する器械の動き／動かし方です。これまでの手術は外科医が直接器械を持って操作していましたが、内視鏡手術用の器械は30cm以上の長い直線的なもので、先端は一方向にしか動かないため、狭い空間や複雑な操作は苦手で、手ブレも影響します。一方、da Vinciで使用する器械は、関節をたくさんもつため、自分の指のように自由自在に動かすことが出来、手ブレもありません。このため、従来の胸腔鏡手術では難しい狭い空間や複雑な操作を必要とする手術でも、大きく切開すること



第一外科助教 本間 崇浩

なく、小さな切開での手術が可能となりました。

なお、呼吸器外科分野でda Vinci手術を提供出来るのは県内で当院だけです。興味のある方は遠慮なさらずに、当科外来を受診しお尋ねください。



胸腔鏡手術

- ・外科医が直接器械を操作
- ・器械は一方向にしか動かない
- ・狭い空間や複雑な操作困難



ロボット支援手術

- ・外科医はロボットを操作
- ・器械は多方向に動く
- ・狭い空間や複雑な操作も可能



胸腔鏡手術の器械

- ・先端は関節のみの動き
- ・一直線



ロボット支援手術の器械

- ・自由自在に動かせる

私たちが、なぜ、直腸癌に対してロボット支援下手術を行うのか？

2018年4月に直腸癌に対してのロボット支援下手術が保険診療として認められるようになり、当院でも2018年6月14日、県内では初となるロボット支援下直腸切除術を行いました。7月末までに3名の患者さんに手術を行い、みなさん、術後は順調に回復されました。

手術を行った直腸は、周囲にさまざまな臓器と神経や血管が多数走行する骨盤内という、深く狭い空間の中でも、最も背中側に位置した場所に存在します。従来行っていた腹腔鏡手術では、こうした狭い空間で、直線的にしか動かすことができない器具のみで手術を行っていました。一方ロボット支援下手術では、手術器具を装着したロボット手術のアームが、多関節で人間の手では再現できない角度の動きができ、手ぶれもありません。骨盤内の深部でも正確に手術器具を動かすことができるようになりました。直腸癌の手術では、ロボッ



第二外科教授 藤井 務



第二外科助教 北條 荘三

トの能力を如何なく発揮でき、がんを取り残さず、合併症を防ぐための理想的な手術が可能になると考えています。

当院では今後、直腸にとどまらず他の消化器癌（胃癌、食道癌）でもロボット支援下手術を行って行く準備をしています。



西能病院は、整形外科疾患における入院・手術治療を主体とする病院です。併設の整形外科センター西能クリニックと連携し、整形分野に専門特化した医療を提供しています。

西能病院

SAINOU HOSPITAL

「これからの医療、これからの地域を見つめて」

西能病院は北陸初の整形外科診療所として1962年に開設しました。2012年に現在の富山市高田の地に移り、専門的な整形外科医療の提供を続けています。移転に伴い機能分化した整形外科センター西能クリニックとともに、地域の運動器疾患の窓口及び経由地としての役割を果たすため、スタッフ一同邁進しています。

2018年7月、当院は富山大学附属病院と医療連携協定を締結しました。紹介をよりスムーズにし、患者さんの病状に即した最適な医療を提供するためです。また、研修医や学生の臨床教育の実施、職員の交流による人材育成も目的のひとつです。両病院間で顔の見える連携をすすめ、地域医療提供体制の強化に取り組んでいます。

団塊世代が75歳以上になる2025年以降は医療介護の需要がさらに増加することが見込まれます。国策である「地域包括ケアシステム」の構築が進められ、医療介護の一体的な提供が求められる中、当院では2016年に地域包括ケア病棟を新設しました。亜急性期症例の受け入れ、在

宅・施設からの急性増悪症例の一時的入院治療に対応しています。この春には、よりシームレスな医療介護を提供するため、グループ内のみどり苑で在宅事業部を立ち上げました。

また、自立生活支援・健康事業の一環として、「地域交流セミナー」を積極的に行っています。医師・看護師・管理栄養士・薬剤師・リハビリセラピスト・社会福祉士などが病院を飛び出し、疾病予防教室の開催やケガなくスポーツを楽しむ知識技術をお伝えし、地域住民の健康をサポートしています。疾病の治療以外にも、私たちにできることを常に模索し実践していきます。

これからの医療を取りまく環境は、ますますの変化が予想され、効率化は待たなしに進められていくでしょう。そのような変革に柔軟に対応し、地域の皆様に安全で安心な医療を提供するため、整形外科専門医療機関としての機能を一層高め、地域医療に尽力していきたいと思えます。今後とも宜しくお願い致します。

西能病院 地域連携室長
西能 健



[開設者] 医療法人財団五省会 理事長 西能 淳
[病院名] 西能病院
[病院長] 増田 明
[所在地] 富山市高田70番地
TEL.076-422-2211 FAX.076-422-2280

[休診日] 土曜日・日曜日・祝日
[診療科] 整形外科・リハビリテーション科・内科・麻酔科・糖尿病内科
[病床] 一般病床97床（内：地域包括ケア病棟47床）

診療科紹介
新任教授の抱負

富山を日本一の消化器疾患診療拠点に

平成30年6月1日に第三内科・消化器内科長として着任いたしました安田一朗と申します。どうぞよろしく願いいたします。

消化器内科は、食道・胃・十二指腸・小腸・大腸・肝臓・胆嚢・胆管・膵臓と多くの臓器を対象とし、また、がん・腫瘍・炎症・感染症・機能障害など疾患も多彩です。これら全ての領域を網羅するのはなかなか大変ですが、各領域に専門医を配置して大学病院でしかできない高い水準の医療を行ってまいります。

私の専門は、膵臓・胆嚢・胆管ですが、がんの早期診断や内視鏡を使った体に負担の少ない治療法の開発を行い、国内のみならず海外でも60回以上の実技指導を行ってまいりました。当科は元々、抗が



第三内科・消化器内科長 安田 一朗

ん剤治療や肝炎・炎症性腸疾患の薬物治療を得意としており、食道・胃・大腸の早期がんの内視鏡治療も数多く行ってまいりました。また、消化器外科には日本トップクラスの先生方がいらっしゃいますので、今後は連携をさらに強化して日本一の消化器疾患の診療拠点を目指してまいります。

大学病院らしい最高水準の医療を

平成30年5月1日より血液内科の診療科長を拝命致しました佐藤勉と申します。さて、「血液内科」と聞いて連想する病気はなんでしょうか？多くの方は「貧血」と答えると思います。ひとくちに貧血といっても、鉄分の不足が原因の場合、ビタミンの不足が原因の場合、骨髄で血液を作る力が衰えている場合、骨髄は頑張っているのに故障している場合など、原因は様々です。その原因を、血液検査や骨髄検査ではっきりさせ、治療にあたるのが血液内科の仕事です。赤血球が増えていると貧血ですが、逆に赤血球が増える病気もあります。血小板や白血球が増えたり減ったりするのも血液の病気です。白血球が増える代表的な病気が白血病ですが、この白血病にも様々なタイプがあります。命に関わることもある怖い病気ですが、一部の白血病は飲み薬だけで



第三内科・血液内科長 佐藤 勉

治ってしまいますから、正確な診断は非常に重要です。その他、全身の骨がもろくなってしまう多発性骨髄腫や、リンパ球のがんである悪性リンパ腫も血液内科があつかう病気です。いずれの病気も新しい治療薬が次々と登場していますから、このような新薬を上手に使って大学病院らしい最高水準の医療をお届けしたいと思っています。

診療科紹介 新任教授の抱負

高精度放射線治療の普及に向けて

平成30年4月より放射線治療科の診療科長を担当させていただいております齋藤淳一です。放射線治療は手術・薬物療法と並ぶがん治療の3本柱の一つですが、日本では欧米と比較して放射線治療が利用される割合はまだ少ないのが現状です。放射線治療は切らずにがんを治すことができるのみならず、延命や症状の緩和に有用であり、機能・形態の温存に優れ、体への負担が少ない治療です。また近年、放射線治療は高精度化し、病巣の形状に照射範囲を最適化し、正常組織への影響を最小限にすることができる強度変調放射線治療も普及してきています。

富山大学附属病院ではこれまで直線加速器一台で年間約350人の治療を行っていましたが、強度変調放射線治療の専用



放射線治療科長 齋藤 淳一

機であるトモセラピーの最新鋭機Radixactが増設となり、より多くの患者さんに高精度な放射線治療を提供できる環境が整いました。最新の医療を安全にお届けできるよう努力したいと思いますのでよろしくお願い申し上げます。

南砺市寄附講座「南砺・地域医療支援学講座」の紹介と抱負

平成30年4月富山大学附属病院に南砺市による寄附講座「南砺・地域医療支援学講座」が開設されました。講座には客員教授（小児外科医廣川）と客員助教（総合診療医小川）と事務員が所属しています。講座開設に併せて南砺市民病院には富山大学初めての試みとして地域医療支援サテライトセンターが設置され、寄附講座医師が派遣、常勤で診療を行うとともに、地域医療を通じた地域包括ケアを担う医療人材育成ならびに患者紹介の円滑化による大学病院と地域病院間の機能分化推進に取り組んでいます。南砺市民病院ではサテライトセンター設置に併せこども医療センターが設置され、近隣地域の小児医療体制の充実に寄与することが期待されています。



富山大学附属病院客員教授 廣川 慎一郎

今後富山大学附属病院卒後臨床研修センターや総合診療部と連携し、臨床研修医の研修体制や研究環境の整備・充実に努めることで、南砺の医療に貢献したいと考えております。皆様のご指導、ご協力をお願い申し上げます。

歯科衛生士・経験年数

- ・山口 百々穂 11年目 富山大学医学薬学教育部修士（医学）取得
- ・高塚 紫巳 6年目 新潟大学医歯学総合研究科修士（歯学）取得
- ・湯浅 加奈 1年目 愛知学院大学短期大学部専攻科学士 取得

私たち歯科衛生士の業務は、地域の開業歯科医院においてはう蝕や歯周病を予防するために歯垢（プラーク）や歯石などの口腔内の汚れを除去したり、歯磨き指導を行ってセルフケアのスキルアップを専門的に支援したりすることが主となります。大学病院においては入院患者様の口腔衛生管理および指導に加えて、周術期口腔機能管理を行っています。周術期とは、入院・麻酔・手術・治療・回復といった一連の治療期間のことを指し、特に平成24年度からは全身麻酔を受けられる患者さんや、がん化学療法・放射線療法中の患者さんに対して周術期口腔ケアを実施しています。手術前後に口腔ケアを行うことによって、術後の肺炎等の合併症の予防や手術部位の感染予防、口腔疾患の予防の効果が期待できます。

またがん化学療法や放射線療法の副作用に口腔粘膜炎（口内炎）があり、がん治療中に口腔内を清潔に保っておくことは、これらの症状の重症化を防ぐことに役立ちます。さらにはう蝕や歯周炎などの治療をしないままがん治療を行った場合は、体力の低

下から抵抗力が下がり、炎症の急性化をきたすことがあります。症状が重症化すると食事の摂取が困難になったり、がん治療そのものを継続することができなくなることもあります。そのため、がん治療前に歯科を受診し、リスク部位のチェックや歯科治療を行うことが望ましく、現在ではこのような予防治療が保険診療として認められています。

歯科衛生士の増員に伴い、新たな業務として、小児科病棟や外来化学療法センターを回診することが出来るようになりました。歯科治療の必要がある患者さんを専門的立場から主治医に報告するとともに、周術期口腔ケアを行い手術後等の感染を防ぐことで、結果的に患者さんの早期退院に繋がるような口腔ケアを行ってまいります。また外来、病棟などで歯科衛生士を見かけたら気軽に患者様の症状について声をかけて頂ければと思います。

周術期口腔ケアについては、私たち歯科衛生士が主体となり、重要性を広めていきたいと考えています。





夏バテに負けない身体を食事から

栄養管理室 管理栄養士 新村 康華

暑い夏を過ごすとき冷たいものばかり食べ、胃腸の調子を崩したり、冷房により体調を悪くし、食欲が落ち偏った食事内容になりがちです。栄養バランスの整った食事をこころがけ夏バテに負けない身体を作りましょう。

疲労の予防と回復に効果的



ゆで豚梅おろしそうめん

- 材料 /2人分
- そうめん(干し) 150g
- 梅干 1/2～1粒
- 豚赤身肉スライス 120g
- 大根(おろし) 100g
- トマト 中1個 100g
- オクラ 4本 40g
- 青じそ 1枚
- めんつゆ(ストレートタイプ) 適量

●作り方

1. そうめん、豚肉、オクラを茹で冷水にとり水切りしておく。
 2. 大根はおろし、梅干と混ぜておく。
 3. トマト、オクラは適当な大きさにカットする。
 4. そうめんと具材を盛り付け、めんつゆをかける。
- 豚肉は卵や納豆などに変えてもおいしく食べることができます。具材を変え温かくしてもおいしくいただけます。一つの器の中に主食・主菜・副菜をそろえて食べましょう。

夏バテの症状

- ・だるい・倦怠感
- ・食欲不振
- ・熱っぽい
- ・やる気がでない

夏バテ予防のためにこころがけたいこと

- ・栄養バランスのとれた食事
- ・規則正しい生活
- ・十分な休息と睡眠

たんぱく質やミネラル・ビタミンが不足しないよう、3食しっかり食べ十分な栄養をとりましょう。豚肉・うなぎ・大豆に含まれるビタミンB1や梅干・柑橘類に含まれるクエン酸を取り入れると疲労回復に効果的です。



専任薬剤師による病棟薬剤業務のご紹介

薬剤部 副部長 小野 敦央

入院している患者さんに適切な薬物療法が行われ、かつ安心してお薬を使用していただけよう、病棟専任薬剤師が医師や看護師をはじめとする多くのスタッフと連携し、患者さんの状態に合わせて適切な業務を行います。代表的な業務をいくつかご紹介いたします。

- 入院時に持参されたお薬(市販されているお薬、健康食品を含む)の内容、服薬の状況を確認し飲み合わせ等の確認をしています。必要に応じて患者さんまたはご家族と面談をし、またその際過去のアレルギーや、副作用の有無の確認を行います。
- お薬のご使用前には疾患や症状、年齢、体格、腎臓や肝臓の機能などを確認したうえで、投与量、投与速度に問題がないか、注射薬

と内服薬との組み合わせが問題ないかを確認しています。

- 副作用が多い等ハイリスクのお薬を使用する際には効果や飲み方(使用方法)、起こり得る副作用とその対処法の説明を患者さんまたはご家族に行っています。
- お薬の使用後には効果及び副作用の有無を確認しています。その上で内容を医師へ伝えお薬の処方設計の提案をしています。



集学的がん治療センター

集学的がん診療センターは外来3階エレベーターを降りて、ほほえみサロンの奥にあります。緩和ケアセンター、がん相談支援センター、外来化学療法センター 3つがまとまり、患者さんのケアにかかわっております。

外来化学療法センター

外来で化学療法を受ける患者さんは年々増加し、昨年度の治療患者数はのべ5000人を越えています。患者さんに安全に安心して治療をうけていただけるよう日々、学習し、患者さんに寄り添い、患者さんの相談に対応できるよう努めています。また、がん化学療法看護認定看護師・がん専門薬剤師が常勤しており、患者さん個々に合わせた専門的な情報を提供しています。



緩和ケアセンター

緩和ケア認定看護師を中心に医師・薬剤師がチームとなり、体と心の両面から患者さん、ご家族を支援していくチームの拠点となる場所です。集中的な症状緩和ケアを行い、患者さん、ご家族が大切な時間を住み慣れた自宅で過ごすことが出来るよう、在宅診療所を含む地域の医療機関と連携して退院支援や緩和ケア病棟など専門性の高い施設などに転院支援を行っています。



がん相談支援センター

がん患者さんやご家族および地域の医療機関から寄せられる「がん相談」に対応しています。がん相談員、緩和ケア認定看護師がじっくりとお話を伺い、医療福祉サポートセンターと連携しながら在宅医療サービスや就労支援の情報を提供しています。また、隣接する「ほほえみサロン」では患者さん同士で語り合う交流の場とし、定期的に茶話会やミニ講座などを開催しています。

一度皆様見学に来てください。

富山のためにより良い医療を目指しています



附属病院長 齋藤 滋

皆様、今年の夏は一段と暑いですね。どうか、夏バテなどで体調を崩されないよう、お願いいたします。

さて、富山大学附属病院は県民の方々から信頼していただけるように、最高の医療を実践できるよう日々努力しております。今月号は、新しく出来た包括的脳卒中センター、総合感染症センターについて、紹介させていただきました。また、新任教授として、放射線治療科の齋藤教授、消化器内科（第3内科）の安田教授、

血液内科の佐藤教授が着任され、これまでに増して素晴らしい医療を実践する事ができるようになりましたので、紹介させていただきます。また地域医療支援の一環として南砺・地域医療支援学講座の廣川客員教授にも執筆いただきました。

富山県の医療を、地域医療を支える事により、少しでも良くしたいと考えています。富山県内で唯一の大学病院として、これからも頑張っまいります。

ヒト型ロボットPepper君も働いています



副病院長 林 篤志

最近は大気不順で気温の変化も激しいので、体調管理に皆様はご苦労されているのではないかと思います。

さて、私は眼科で診療していますが、眼科ではヒト型ロボット Pepper を外来に導入し、患者さんの待合室で活躍してもらっています。

以前から Pepper 君には、毎週土曜日に白内障手術の説明を患者さんと家族の方にしてもらっています。これはネット上ではよく知られていて多くの方が見学に来られました。また

ゲームで遊べることで病院にまた来てくれる子供たちもたくさんいます。

眼科では、看護師さんの代わりに Pepper 君が入院や検査の説明をしてくれるので、大変助かっています。機会があれば眼科の Pepper 君を見に来てください。将来は、病院でたくさんの Pepper 君が活躍しているかもしれませんね。



編集後記

今年の夏も暑いです。暑中お見舞い申し上げます。

最近梅雨も短く、以前のようにはっきりと認識ができなくなっています。それにしてもとにかく暑い。子どもの頃は夏休みの宿題で絵日記がありましたが、毎日の天気と気温を欠かさず記録しました。その当時は、暑くても

28度程度・・・30度を超すことはほとんどなかったように思います。

小学校でもクーラーなしで、窓を開けて心地よい風を感じたものです。今はクーラーをつけていても熱中症になりますから・・・皆さまもこまめに水分補給をお願いします。

広報委員 三日市 麻紀子

外来棟マップ



病院までのアクセスについて

交通機関をご利用の場合

〔JR富山駅より〕 富山地铁バス(3番乗り場)で30分 〔富山空港より〕 タクシーで20分



バス簡易時刻表

富山大学附属病院から → 富山駅前・小杉駅前・高岡駅前へ

平日

- 富山駅前** 始発:7時30分 最終:21時15分
 - 約30~40分おき ●19時以降/約60分おき
- 小杉駅前**
 - 10時25分
- 高岡駅前** 始発:8時45分 最終:17時40分
 - 約60分おき ※10~11時、13~14時、16時台の運行はありません

休日

- 富山駅前** 始発:7時30分 最終:21時10分
 - 7時~8時/約30~50分おき
 - 9時以降/約60分おき
- 高岡駅前**
 - 運行はありません

富山駅前・小杉駅前・高岡駅前から → 富山大学附属病院へ

平日

- 富山駅前発** 始発:6時55分 最終:20時45分
 - ◎富山駅前バスターミナル 3番のりば
 - 約30~40分おき ●19時以降/60分おき
- 小杉駅前発** 始発:10時00分 最終:16時45分
 - 約60分おき ※11~13時台の運行はありません
- 高岡駅前発** 始発:7時40分 最終:16時05分
 - ◎高岡駅古城公園口側ターミナル 5番のりば
 - 約60分おき ※9~10時、12~13時、15時台の運行はありません

休日

- 富山駅前発** 始発:7時00分 最終:20時40分
 - ◎富山駅前バスターミナル 3番のりば
 - 7時、16時/約30~50分おき
 - 8時以降/約60分おき
- 高岡駅前発**
 - 運行はありません

婦中コミュニティバス	順回り	7時45分(3~12月)	10時40分	14時15分	逆回り	9時15分	12時15分	15時50分
呉羽コミュニティバス	通常便	8時41分	11時01分	13時21分	15時41分	18時01分	19時11分	
	古洞の森・三熊経由便	9時47分	12時07分	14時27分	16時47分			



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

2018年8月 現在